

第17回

日本子ども健康科学会学術大会

(子どもの心・体と環境を考える会)後援 厚生労働省・文部科学省

大会長:古荘純一(青山学院大学教育人間科学部教育学科)

増加する子どもをめぐる問題の理解と対応

日程 平成28年(2016年)3月5日(土) 6日(日)

会場 青山学院大学青山キャンパス

(東京都渋谷区渋谷4-4-25)

参加費:会員および関連学会員 4000円 非会員 5000円 学生1000円

関連学会:日本医療保育学会、日本禁煙科学会、日本行動科学学会、日本小児精神神経学会、日本ストレスマネジメント学会

<2016年3月5日(土) 13:00~18:00>

テーマ1;発達障害の研究と今日的課題

テーマ関連特別講演(一般社団法人日本小児精神神経学会講師派遣事業の補助を受けて開催します。)

発達障害1;発達障害と後天的要因(仮題):鷺見聡(上林記念病院こども発達センターあおむしセンター長)

発達障害2;発達障害の療育の現場から(仮題):広瀬宏之(社会福祉法人青い鳥横須賀市療育相談センターセンター長)

教育講演1

発達障害とエビジュネティクス(仮題):久保田健夫(山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座 教授)

一般演題(発達障害関連)

会長推薦演題

ADHD児のサマーキャンプ(仮題):向笠章子(久留米大学大学院心理学研究科 講師)

会長推薦演題

乳幼児健診におけるASD児の早期発見の取り組み(仮題):郷間英世(京都教育大学発達障害学科 教授)

<2016年3月6日(日) 9:00~17:00>

テーマ2;子どもの病的依存を考える

テーマ関連講演

病的依存1;子どもの喫煙と禁煙教育(仮題):高橋裕子(奈良女子大学保健管理センター 教授)

病的依存2;子どものネット依存症(仮題):久場川哲二(久場川こども発達クリニック 院長)

教育講演2

子どもの薬物依存と自傷(仮題):

松本俊彦(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長)

教育講演3

子どもの発達とテレビ視聴(仮題):

菅原ますみ(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻 教授)

一般演題(テーマ関連演題)

テーマ3;食物アレルギー児を支える多職種役割

テーマ関連シンポジウム

食物アレルギーの最近の医学的進歩と課題:伊藤浩明(あいち小児保健医療総合センター 副センター長)

食物アレルギー児の食のサポート(仮題):

林典子(国立病院機構相模原病院臨床研究センターアレルギー性疾患研究部 栄養士)

食物アレルギー診療をサポートするアレルギーエデュケーターの役割(仮題):

益子育代(東京都立小児総合医療センター看護科 小児アレルギーエデュケーター)

食物アレルギー児の発達心理(仮題):松崎くみ子(跡見学園女子大学文学部臨床心理学科 教授)

一般演題(テーマ関連演題)

会長講演:特別支援教育における教育虐待と教育ネグレクト:古荘純一(青山学院大学教育人間科学部教育学科 教授)

参加者は、日本小児科学会小児科専門医 研修4単位取得できます。申し込み演題数等により、時間の変更がありえますのでHP・抄録集を御確認ください。

お問い合わせ:日本子ども健康科学会事務局

<http://www.jshsc.jp>

Email: info@jshsc.jp